

使用にあたってのクイックガイド

お願い

- 可燃性ガスを使用していますので引火性があります。
- ウレタンフォームに火花、溶接屑があたると燃えることがあります。火気および火花のあたるところでは使用しないで下さい。
- 作業場所では十分な換気を行ってください。換気はウレタンフォーム作業終了後、約3時間は継続して下さい。
- 密閉箇所での使用は酸欠および爆発火災の恐れがありますので止めて下さい。
- 正しい使用方法に従っても液が出ない場合、釘などでつついたりせず、発売元にお問合せ下さい。
- 自動車のトランク内など40℃以上に温度が上がる場所には置かないで下さい。容器が破裂する恐れがあります。



引火性



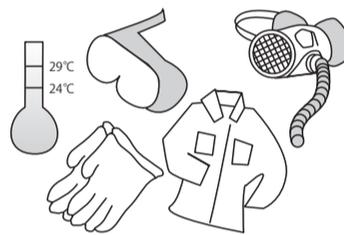
換気必要



火気厳禁

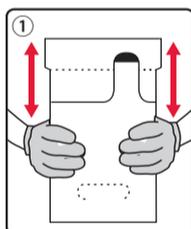
使用前の準備

- 使用時には保護手袋、保護メガネ、作業着、呼吸器具を着用して下さい。
- 使用時の缶内の液の最適温度は24～29℃です。冬場の使用の場合は、事前に室内に保管するなどの方法で、液温を温めて下さい。(直火による温めは容器が破裂する恐れがあり危険ですので、止めて下さい)
- ノズルは表面が約13℃以下になると透明から青色に変色します。ウレタンフォーム吹付作業中にノズルのミキシング部分の表面が青色である場合は、ノズル内を通過するウレタン原液の温度が適温(24～29℃)より極めて低い(13℃以下)ことを示しています。この状態で作業を続けると、良質なウレタンフォームが形成されず、発泡不良につながります。作業を中断して原液を温める手段をとって下さい。液温を適温まで上昇させて作業をすると外気が13℃以下でもノズル表面は透明になります。
- ウレタンフォームが付着しないように、施工部分以外は養生して下さい。

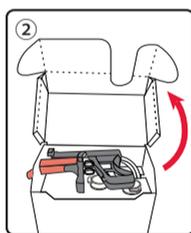


使用方法

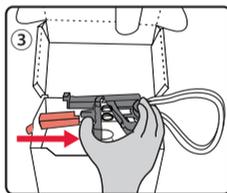
- ① 使用する前に商品を箱ごと1分間程度振って、箱の中にある缶の中の原液が良く混ざるようにして下さい(イラスト①)。



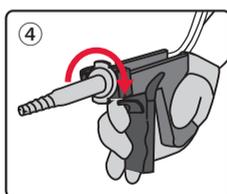
- ② 箱の上部の蓋を開けて下さい(イラスト②)。



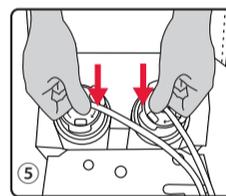
- ③ ガンのトリガーを少し引いて、赤い安全弁をガンから外して下さい。そして、箱内部にあるチューブを箱の外に引き出して下さい(イラスト③)。



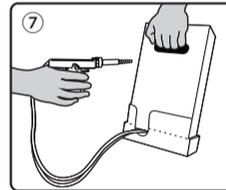
- ④ ノズルをガンの装着面に当て、時計回りに回して、ガンに取り付けて下さい(イラスト④)。



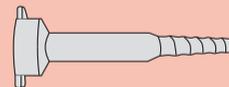
- ⑤ 箱内部の蓋を開けて下さい。缶の上部が見えます。缶上部の黒い円形のプラスチック部分を先ず下に向けて押して下さい(イラスト⑤)。カチッという音がしたら、今度は時計回りに4分の1回転して下さい(イラスト⑥)。



- ⑥ 箱内部の蓋と上部の蓋を再度閉じて下さい。箱が倒立になるように持って、ガンのトリガーを引くとウレタンフォームが吐出します(イラスト⑦)。



フォーム吐出作業が30秒以上中断すると、すでにノズルの中でフォームが硬化しています。作業再開の際に、同梱されているスペアノズルと交換してください。



使い捨て商品ですので、開封後は一気に作業をお願いします。

↓
使用時
(上)